

## 3月定例会

# 討論

議案に対する討論について、主なものをお知らせします。

### 名誉市民の称号を贈ることにつき同意を求めること

#### 賛成

○宗教、政治的信条を超えて敬愛されている方。  
○条例、規則に違反しておらず、世界、日本国に名をはせられた宮崎貫長の功績に反対するものではない。

#### 反対

○名誉や地位から離れて清廉な人生を送られ、このような名誉を望まれるだろうか。  
○この称号が実効力があるのかという思いがあり、制度を見直してはどうか。

#### 採決結果

賛成8、反対9で不同意

(なお、4月臨時会においては、

賛成14、退席1、早退2で同意されました。)

### 職員の公益的法人等への派遣等に関する条例

#### 賛成

○社会福祉協議会は市からの委託業務の拡大等により組織の規模が拡大する一方、管理体制は不十分で、運営について十分整備されなければならない。

○市から一定期間職員を派遣し、本来の役割が発揮できる形にしていくことが重要。

#### 反対

○独立した公益法人を尊重して法人の独自性や独立性に基づいた適任者を選定できるよう、連携、指導、支援することが行政の責務。

○市の職員が不足している状況で、派遣することは承認できない。  
○規則で職員の派遣の対象範囲を決めるということに危険性を覚える。

#### 採決結果

賛成7、反対10で否決

### 市民養老金支給に関する条例を廃止する条例

#### 賛成

○今後は、校区のまちづくり協議会や、各町及び家族で喜び、

祝う社会にしていかなければならない

○厳しい財政状況の中で、すべての事業の徹底した見直しが必要。  
○金員を渡すかにこだわることなく、どのように敬い、どのように生活に満足いただくかを考えていく必要がある。

#### 反対

○今後も高齢化率が上昇する社会を迎え、廃止することは理解できない。

○高齢者の長年の社会貢献に敬意と感謝を込め、加西市の反映に寄与され続けてこられた方に対し、敬老の意思を明確にして、市民養老金の支給であらわすべき。

#### 採決結果

賛成6、反対11で否決

### 開発調整条例

#### 賛成

○条例をつくっていないのは、県下で四市だけ。

○開発業者と地域との紛争が後を絶たない現実があり、開発業者の土地、所有者の権利とともに、地域住民にも平穏に生活する権利を保証しなければならぬ。

○都市計画審議会から出された答申にも良好な土地利用を誘導するために事前協議制は必要と明記されている。

○突然に違法な開発が起きて、住民が困るといったトラブル防止には必要な条例。

○開発の前から問題点が市民に明らかにされて論議していくことは、健全な開発を進めていくためにも必要。

#### 反対

○適正な土地利用の推進を図り、良好な地域環境を目指すという趣旨は理解するが、開発事業においてはほとんどが現行法によって許可が行われている。

○いままで公正な判断がされていたとは思われず、法律は立派でも、それを運用するところに信頼が置けない。

○条例制定をやみくもに急ぐのではなく、個別事案について現行法での対応をもっと工夫すべき。  
○開発を促進し、固定資産税の増収を図ることが重要。もう少し景気が回復し、乱開発が増えてくるような状況になれば、考えるべき。

#### 採決結果

賛成7、反対10で否決

### 一般会計予算修正案(マツタケ山再生事業の減額)

#### 修正案に賛成

○効果が認められるかが余りにも不確実

○住民の動機づけのために、呼び水のようなお金の使い方が必要なのか疑問。

○修正案に反対(原案に賛成)  
○加西市の森林を一つでも大きく豊かな土地にすることは賛成。  
○放棄状態であった里山整備に取り組むには、きつかけが必要。  
○自然を財産として伝えていく姿勢が市にとって大切。

採決結果(修正案に対して)  
賛成10、反対7で可決

### 請願・陳情を採択

3月定例会では、富田地区、賀茂地区、西在田地区より提出された教育委員会において進めている小学校の統合計画案に反対する請願、幼稚園と保育園の統合計画に対して要請される陳情が上程されました。本会議の討論においては、どのような教育環境を求めていくのかという議論があいまいなまま固定化する結論を出してはならないとして趣旨採択すべきとの意見や、もっと時間をかけて考えるべきとして継続審議にすべきとの意見が出されましたが、採決の結果、いずれも原案どおり採択されています。